



令和6年6月27日
統合幕僚監部

(お知らせ)

複数領域における日米韓共同訓練「フリーダム・エッジ」の初実施（仮訳）

日本、米国及び韓国は、6月27日から29日にかけて、初めてとなる複数領域における日米韓共同訓練「フリーダム・エッジ」を洋上で開始しました。

本訓練の実施は、昨年8月のキャンプ・デービッドにおける日米韓首脳会合及び本年6月のシャングリラ会合の際に行われた日米韓防衛相会談において発表したものです。

本訓練は、朝鮮半島を含むインド太平洋の平和と安定のために、日米韓の相互運用性を促進し、自由を守るという日米韓の意思を表明するものです。

本訓練には、日本からは護衛艦「いせ」、「あたご」、哨戒機P-1が、韓国からは駆逐艦「ソエ・ユ・ソンニョン」、「カン・ガムチャン」、哨戒機P-3、リンクス対潜ヘリコプター、戦闘機KF-16が、米国からは空母「セオドア・ルーズベルト」、駆逐艦「ハルゼー」、「ダニエル・イノウエ」、哨戒機P-8、戦闘機F/A-18、早期警戒機E-2D、特殊作戦ヘリコプターMH-60が参加します。

本訓練では、弾道ミサイル対処訓練、防空戦闘訓練、対潜戦訓練、捜索救難訓練、海上阻止訓練、サイバー攻撃対処訓練に重点を置いています。

今後、日米韓3カ国は、「フリーダム・エッジ」を更に強化していきます。